

・受難主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十一編」

御力を表される主をあがめよ

力ある御業をたたえて、

我らは賛美の歌を歌う。



互いに足を洗い合う

イエスさまが十字架につけられる前日の夜、イエスさまは12人の弟子たちを集め、過越の食事をしました。間もなくイエスさまはユダヤ人指導者たちに捕らえられ、弟子たちの元を離れていかなばなりませんでした。

その時、突然イエスさまは弟子たちの足を洗い始めました。イエスさまは足の汚れを落とす、手拭いで拭き、彼らの足をきれいにしました。この当時、人の足を洗うのは召使いのお仕事でした。弟子たちは先生、主であるイエスさまが召使いのように足を洗い、仕える姿を見て、戸惑っていたと思います。イエスさまがペトロのところに来ると、彼は「主よ、私の足など絶対に洗わないでください」と拒みます。イエスさまは「私があなただけを洗わなければ、私とあなたは何の関わりもなくなる」と言われ、彼の足を洗いました。さらに「ご自分を裏切ろうと企むイスカリオテのユダの足元にも来られました。指導者たちにイエスさまを引き渡す機会を狙っている彼の前にも身を低くし、彼の足も洗いました。」

そしてイエスさまは「主であり、師である私があなただけの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければなりません」と言われました。人よりも低くなり、人に仕える召使いにならなさいと。

イエスさまはこれまでも弟子たちに「自分を低くする人が天の国で一番偉いです。偉くなりたいた人は、全てのの人に仕える人にならなさい」と教えてきました。

でも弟子たちは過越の食事の最中に、「誰が一番偉いのか」と言い争っていました。その前には二人の弟子が「主が栄光をお受けになる時、私たちの一人をあ

なたの右に、もう一人を左に座らせてください」と願った。他の弟子たちは二人に腹を立てていました。弟子たちはイエスさまの教えをまるで何も聞いていないかのように、誰が上か、下かと見て、人よりも上に立ち、偉くならうとしていました。その弟子たちのために、イエスさまは彼らの召使いとなり、模範となる姿を示してくださいました。ご自分の身をもつて、人の足を洗い、仕えることが幸いですと教えてくださいました。弟子たちの元を離れていく直前まで、彼らのことを思い、彼らのために必要なことをなして、彼らを最後まで愛し抜かれました。

この後イエスさまはユダに裏切られ、指導者たちに連れていかれます。十字架におかかりになって、死なれたのです。その時、弟子たちはイエスさまが自分たちのためにご自分を捨て、最も低くなられて、死んでくださったことを知りました。主の十字架を通して、弟子たちは誰が偉いのかと争っていたことは愚かなことだったと気付かされ、偉くなりたい心が打ち砕かれたと思います。へりくだった弟子たちは、イエスさまが自分たちを最後まで愛し、足を洗ってくださいましたように、彼らも人の足を洗い、人に仕える召使いとして生きたのではないのでしょうか。

私たちの主であり、師であるイエスさまは最後まで人を愛し、人のことを思い、仕えることが幸いだと示してくださいました。何よりも私たちのために、十字架を背負われ、最も低くられ、死んでくださったのです。

そのイエスさまは「あなたがたもお互いに足を洗い合いなさい」と、私たちのことを招いておられます。イエスさまから福音を知らされ、愛を受けている私たちもへりくだって、隣にいる人の足を洗う、最後までその人のことを思い、仕えていきたいと思っています。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、

混じりけのない霊の乳を

慕い求めなさい。

これを飲んで成長し、

救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新しい翻訳

どうかわったのでしよう

58篇

新共同訳

十一 神に従う人はこの報復を見て喜び

神に逆らう者の血で足を洗うであろう。

十二 人は言う。

「神に従う人は必ず実を結ぶ。

神はいます。

神はこの地を裁かれる。」

協会共同訳

十一 正しき者はこの報復を見て喜び

悪しき者の血で足を洗う。

十二 人は言う。

「まことに正しき者には実りがある。

地には裁く神がおられる」と。

新改訳2017

十 正しい人は復讐を見て喜び

その足を悪しき者の血で洗う。

十一 こうして人は言う。

「まことに正しい人には報いがある。

まことにさばく神が地におられる。」

《今日のお知らせ》

○第二礼拝の説教後、役員任職式を行います。

○六日木曜日の午後七時より聖晚餐礼拝を行います。

○今週は受難週です。主のご受難を覚えつつ、この一年受けた恵みの証しをお書きいただき、今週中にご提出ください。

原稿用紙2枚(800字)以内でお願いします。
メールでの提出も受け付けます。

アドレスは「ent@gloria-chapel.com」です。

○二〇二三年度の聖書通読表が出来ました。事務所のカウンターにありますので、是非ご活用ください。

《役員会より》

○来週九日はイースター礼拝です。今年も二回の礼拝を持ちますが、今回第一礼拝には久しぶりに教会学校生徒が多く参加する予定です。礼拝堂の定員(180名)オーバーが予想されますので、教員の皆さまはできるだけ第二礼拝にご参加くださいますよう、ご協力お願いいたします。

《伝道カテゴリーより》

来週のイースター礼拝後一二時三〇分より礼拝堂で伝道カテゴリー奉仕者全体会を開催します。

今日の讃美歌 現代語訳

讃美歌 391番

1. ナルドの壺のように
私の愛をささげます
御業のため 主よ 潔めて
おうけください
2. 弱い人々に力を
薄暗い世の中に光をお与えになり
主の気高い御旨を
行ってください
3. 怖れる者に平和を
嘆く者に希望をわけて
主の深い恵みを
表してください
4. この世の業を終えて
天の国に帰ったときは
主の御前に常に変わらず
お仕えます

《事務所より》

新しい主日予定表を皆さまの状差へ配布いたしました。配布が遅くなりご迷惑をおかけしました。

《今後の予定》

- 四月 六日 聖晚餐礼拝（一九時）
四月 九日 イースター礼拝（二回礼拝）
四月一六日 定例役員会
四月二三日 四月総会

今日の聖書クイズ

（問）主イエスは多くの奇跡を行われましたが、その奇跡の起きた最も北に位置する場所はどこでしょう？

- A ベイルート
B フェニキア
C ローマ
D ダマスコ

（答）B マルコによる福音書7章24から30節をご覧ください。

《聖晚餐礼拝》

●聖晚餐礼拝（午後7時）

讃美歌 142番 207番

説教 「互いに足を洗い合うように」

聖書 ヨハネ13章12～20節

説教者 黄允湜 牧師

※礼拝同様にライブ配信を行います。



《次週のイースター礼拝》

●第一礼拝（午前9時30分）

讃美歌 II 131番 148番

説教 「主は復活なさった」

聖書 マルコ16章1～8節

説教者 菊池美穂子 副牧師



●第二礼拝（午前11時）

讃美歌 II 131番 153番

説教 「釘跡に、脇腹にてをいれなさい」

聖書 ヨハネ20章19～29節

説教者 黄允湜 牧師

第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 299番 讃21 393番
説教 「わたしと一緒に楽園にいる」
聖書 ルカ23章32～43節(新約P158)
司式 菊池 美穂子 副牧師
聖餐司式 黄允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲 「暗きゲッセマネへ」 W.バート

○ 讃美歌21 299番

1. うつりゆく世にも かわることない
主イエスの十字架は われらのほこり
2. おそれとなやみの せまるときにも
十字架は平和とよこび満つる
3. 十字架の上より 光はさして
ゆくべき旅路を 照らしみちびく
4. 喜ぶときにも 楽しむ日にも
主イエスの十字架は 平和与える アーメン

○ 讃美歌21 393番

1. こころ一つに 平和を求め
主を愛する愛 明るく燃やそう
主はぶどうの幹 われらその枝
主はわれらのもの われら主のもの
2. 恵みの子たちよ 交わり深め
愛とまこととを 互いに誓おう
われらのきずなが 弱まる時も
強めてください 主の愛により
3. 主はわれらのため 苦しみを受け
その友のために 命を捨てた
われらも互いに まことの愛を
兄弟姉妹と 共に分け合おう
4. 分かれた民が一つにされる
その日が来るのをわれらは望もう
主の光を受け その輝きを
世界に示そう 主の弟子として アーメン

聖餐曲 「おお世よ、我は去らねばならぬ」 J.グラームス

後奏曲 「いつわりの世に別れを告げ」 R.J.ヒュージェス

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 140番 506番
説教 「神に栄光あれ」
聖書 ローマ16章25～27節(新約P298)
司式 菊池 美穂子 副牧師
聖餐司式 黄允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲 「いつわりの世に別れを告げ」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 140番

○ 讃美歌 506番

聖餐曲 「おお世よ、我は去らねばならぬ」 J.グラームス

後奏曲 「いつわりの世に別れを告げ」 R.J.ヒュージェス

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。